

投資者の皆様へ

2022年1月27日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

### 1月27日弊社日本株式関連ファンド(Jシリーズ)の基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。直近で国内の新興株式市場において株価が大きく下落いたしました。これを受けて、1月27日における弊社の下記ファンドの基準価額が大きく下落いたしましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

#### 1.基準価額及び騰落率(1月27日)

ファンド名称	基準価額	前日比	騰落率
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	12,348円	▲752円	▲5.7%
SBI日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	15,652円	▲951円	▲5.7%

#### 2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

\* 以下は、本ファンドの投資助言を行う、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社のコメントをもとに記載しております。

26日の米連邦公開市場委員会(FOMC)後の声明文で、次回3月会合での政策金利の引き上げを示唆したことで、米国株式市場ではパニック的な混乱を招きました。この影響は日本株式市場にも伝播し、当ファンドの基準価額にも大きく影響を与えました。

組入企業の業績動向については毎日丹念に確認をしていますが、業績は想定通りに推移していることに加え、成長性に対する見方にも変化はないため、ファンドのクオリティには全く問題ないことをご報告いたします。

また、投資家のリスクオフ(回避)姿勢が強まる中でグロース株(成長株)からバリュー株(割安株)へのシフトが起きているという報道がありますが、日本の成長戦略が始動した2010年12月以降長期的にはグロース株優位に推

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

移しています。下記の図は2010年12月末を100として指数化したラッセル野村小型グロスインデックスをラッセル野村小型バリュートラックインデックスで除したものです。アベノミクスとして成長戦略が始まった2012年12月以降、中長期的にはグロス株優位(右上がり)のトレンドが続いています。

2016年のトランプショック以降米国の金利上昇懸念が高まった局面や、2020年の新型コロナウイルスの感染拡大が初めて懸念された局面などグロス株が一時的に苦戦した時期があったものの、株価は中長期的には業績(成長力)を反映すると考えられることから、株式市場が冷静さを取り戻すと再度企業の成長に見合った水準に戻ることが想定されます。

これまでの20年にわたる調査投資助言経験を踏まえると、こうした局面こそ革新的な成長企業を割安な株価で投資する好機ととらえています。本日も4件の企業経営者と個別直接面談調査を実施しました。どの経営者も成長に確信を持って取り組んでいることが確認できており、腰を据えて調査することが最も重要であると改めて実感しています。



計算式：グロス指数 ÷ バリュートラック指数 × 100

指数にはラッセル野村小型グロス指数とラッセル野村小型バリュートラック指数を使用。

出所：Bloomberg よりエンジェルジャパン・アセットマネジメント作成

以上

## 投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

## お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.2%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

### ●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。